

医療コンテナ活用促進の取組

「医療コンテナの活用に関する手引き」を用いた都道府県への普及

令和5年度中に各都道府県が策定し、令和6年度から実施される「第8次医療計画」において災害時の医療コンテナの活用が組み込まれるよう、国土強靱化推進室と厚生労働省が一体で様々なアプローチを実施。

1. 都道府県Web説明会の開催(8/24)

43道府県の医療計画担当職員・国土強靱化担当職員が参加。



【Web会議 議事次第】

- ①厚生労働省指針の説明
- ②災害時の活用事例の紹介
- ③「活用の手引き」の解説
- ④質疑応答

参加者からは、災害時以外の活用などに関する質問をいただいた。

2. 都道府県管内の保有状況調査(集計中)

各都道府県における災害時活用の基礎資料として、各都道府県管内の医療コンテナの保有状況(設置場所、搭載機器、活用実績等)を、民間の医療機関も含めて集計・整理。

3. 国内における取り扱い機材情報の共有(整理中)

各都道府県が医療コンテナ導入を検討する際の参考資料として、現在、国内で取り扱われている機材(医療コンテナとして活用可能なもの)の情報を製造企業等から収集・整理。

災害時以外の活用に向けた取組

Web説明会における都道府県からの質問を踏まえ、平常時の利用事例や日常の維持管理などについて情報収集を実施。

1. 大阪赤十字病院の運用状況調査(9/29)

東日本大震災や熊本地震で活動実績のある大阪赤十字病院の医療コンテナ(dERU)の運用状況を調査するとともに、災害医療担当者と意見交換。



2. 長崎県上五島における取組(11/21)

医療コンテナ推進協議会が行う現地テストや地域の医療関係者を交えたワークショップに参加し、情報収集。

